



写真：山本宗補撮影

石手寺対談「同体大悲～人々のなかへ」

佐々井秀嶺×加藤俊生

在インド 50 年、差別に苦しむ民衆に寄り添い共に歩んできた佐々井上人。震災を経験し戦争の影せまる故郷日本に何を思うのか。石手寺住職加藤俊生師と 8 年ぶりの邂逅。



佐々井秀嶺（ささいしゅうれい）

1935年岡山県新見生まれ。東京高尾山薬王院にて山本秀順師について得度。龍樹菩薩の靈告に従ってインド・ナグプールに入り、以来50年、現地の仏教徒と寝食を共にし、アンベードカル博士の仏教復興運動を継承。インド名 Arya Nagarjuna Shurei Sasai。およそ1億人とも言われるインド仏教徒の最高指導者。大菩提寺返還運動を主導し、インド政府の少数者委員会仏教代表に就任。1994年アンベードカル国際平和賞受賞。今なお仏教徒の社会運動の先頭を行く。現在81歳



日時：6月20日（火）午後2時～4時

内容：佐々井師紹介 対談 交流会

場所：石手寺（松山市石手二丁目9番21号）

入場無料

お問合せ：石手寺 089-977-0870 南天会（佐伯）090-5304-8955